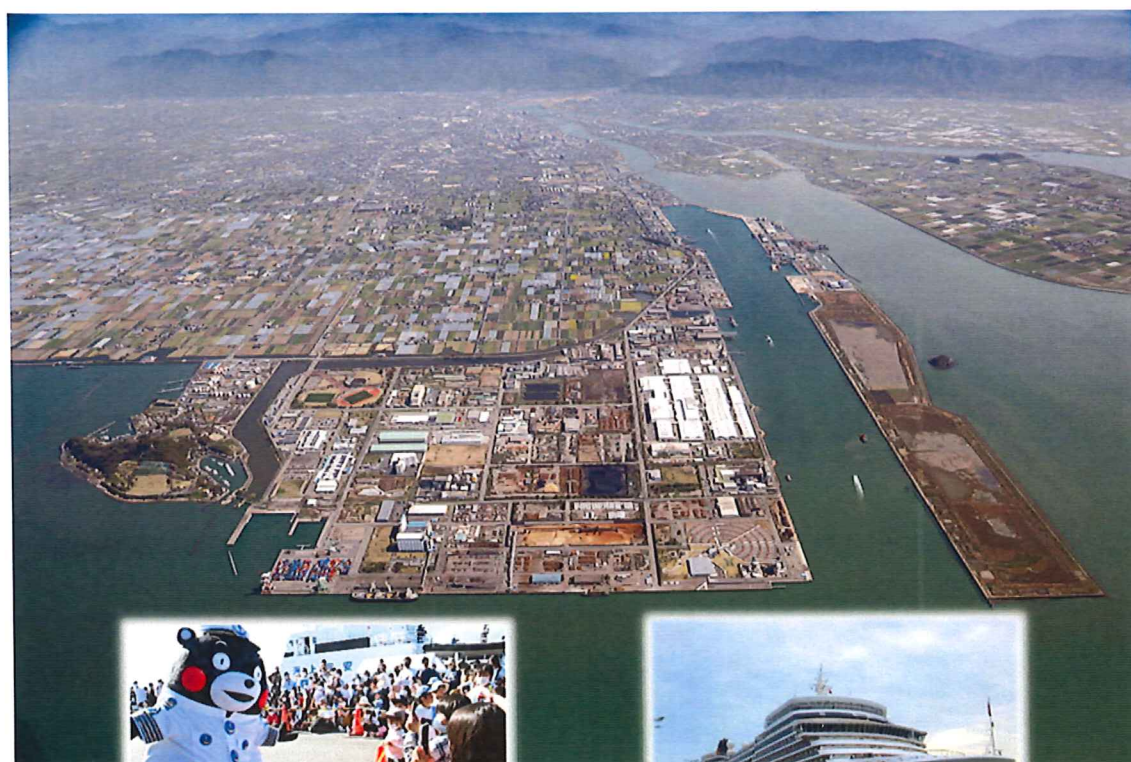


熊本県知事 蒲島 郁夫 様

要 望 書

南九州地域の拠点港湾「八代港」の整備促進について
～地域経済の活性化のために～



【令和4年10月23日】
～みなと八代フェスティバルの様子～



【令和5年4月21日】
～豪華客船クイーン・エリザベス寄港の様子～

八代市
八代港整備・活用促進期成会

八代港の整備促進に関する要望書

日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

八代港につきましては、貴職をはじめ、関係各位のご尽力により、私たちが切望してまいりました整備が着々と進んでいることにつきまして、深く感謝申し上げますとともに、重ねてお礼申し上げます。

さて、港湾物流に関しては、長らく続いたコロナ禍による海上輸送の混乱も落ち着きを取り戻しつつあり、八代港においても、一時減便運航となっていた台湾航路が令和5年1月より毎週運航に戻るなど明るい兆しが見え始めています。

こうしたなか、八代港背後地においてもJASM熊本工場の建設に伴う資材関連の取扱いが増加しており、まさにこれまでの県・市・民間事業者が一体となったポートセールスが実を結びつつあるものと、今後の発展に大きな期待を抱いているところです。

また本年4月には、くまモンポート供用開始以来初となる国際クルーズ客船クイーン・エリザベスが寄港し、市内においても乗船客の回遊で飲食店にも賑わいが見られました。

今後も大型クルーズ船の寄港が順次予定されていることから、地元自治体としてこれまでも増して受け入れ態勢の充実を図ってまいります。

このように、関係各位のご尽力による千載一遇の好機を県南経済のさらなる成長へとつなげるため、より一層の取組を進めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いたします。

つきましては、地域経済の成長、それに伴う雇用の創出、南九州地域の発展に欠くことのできない八代港の整備促進につきまして、下記のとおりご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 水深14m航路の早期完成に向けた支援継続

現在整備中の水深14m航路につきましては、計画水深が確保されていないため、大型船の入港に際しては喫水調整も必要となる等、非効率な物流体系となっており、不要な輸送コストが発生しております。これらが解消されれば、背後立地企業の競争力強化が図られ、新たな設備投資や雇用創出、消費者への利益還元等、八代市域にとどまらない、広範な地域経済の活性化等の効果が発揮されることとなります。

このため、県におかれましても、国に対する水深14m航路の早期完成要望につきまして、ご配慮を賜りますようお願いいたします。

2. コンテナターミナルの付帯施設等の充実

これまでの取組の成果により、八代港における農水産物や化学品等の貨物取扱いは大きく増加しており、今後本格化するJASM関連の半導体原材料の輸入等を見据えると、コンテナ取扱量の増加に加え、温度管理が必要となるリーファーコンテナの需要がさらに増すことが想定されます。

また、昨年6月にはCFS倉庫が完成し、県南地域の農水産品等を扱う海上輸送拠点としての役割も飛躍的に向上していることから、リーファーコンテナの増設、コンテナヤードの拡張等付帯施設の早期整備及び更なる利便性の向上につきまして、ご配慮を賜りますようお願いいたします。

3. 円滑な荷役環境の早期整備

八代港を利用する県産木材等の取扱貨物量増加に伴い、野積場が手狭、不足しております。特に、原木輸出が急増していることに伴い、木材ヤードが点在している等、非効率的なふ頭運営となっており、関係者からこれ以上の受け入れが困難な状況にあり、やむなく他港を利用せざるを得ない等のご指摘を多く頂いております。

つきましては、県所有外港地区の未利用地の活用検討、開放、及び野積場の確保を図り、効率的な貨物ゾーン整理と荷役環境の実現に向けて、ご配慮を賜りますようお願いいたします。

4. 加賀島地区の有効活用

本年2月、国内大手の木材加工企業による八代市への進出が表明されました。しかしながら、現在本市にはまとまった企業進出用地がなく、加賀島は新たな企業進出につながる最有力の候補地であると認識しています。

ついでには、不足する企業誘致用地への対応及び取扱量の増加が続く原木ヤードへの対応を図るためにも、加賀島地区の早期分譲への取組に加え、水深12m岸壁の早期事業化について引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。

5. クルーズ客の観光ルートとなる臨港道路の補修促進

臨港道路につきましては、大型車両の運行による道路の陥没あるいは路面標示が消えかかっている箇所が散見される等、周辺企業の安全な事業運営に支障をきたす状況となっております。

折しも本年4月より国際クルーズの寄港も再開されており、当該エリアは港湾事業者だけでなく大勢のクルーズ利用客を乗せた大型バスの増加が見込まれるエリアでもあります。

クルーズ客の観光ルートでもある臨港道路の安全性を高め、おもてなしの向上につなげるためにも、早急な対策を講じていただきますようお願いいたします。

6. 新規航路誘致及び既存航路拡充のための支援

JASM熊本工場の建設開始により、八代港には現在多くの建設資材が搬入されており、今後は工場の稼働に伴い半導体向け原材料等の輸入増加も想定されています。

こうした物流面での好機を県内経済の浮揚へつなげるためには、航路の拡充等による県外他港との差別化を図ることが重要な取組みとなっております。

つきましては、新たな航路誘致及び既存航路拡充のためにも、今後とも継続したご支援を賜りますようお願いいたします。

令和5年9月7日

八代市長

中村博生



八代港整備・活用促進期成会長

松本喜一

